

データサイエンスでは、文字列型の変数に対する操作が実に多い

※「カテゴリデータ」とも呼ばれる

例：

- 文字列を連結
- 繰り返し文字列を作る
- 部分文字列を取り出す、別の文字で置き換える
- 不要な接頭語・接尾語・スペースを削除
- 文字数を揃える
- 特定のパターンにマッチする文字を抽出

この後、文字列変数に対する操作の例を示す

文字列の連結①

任意の2つの文字列AとBの連結は 文字列A + 文字列B で出来る

```
s1 = 'Python'  
s2 = 'is'  
s3 = 'useful'
```

← 3つの文字列変数を生成

```
s_all = s1 + ' ' + s2 + ' ' + s3
```

3つの文字列を連結させた
新しい文字列変数を作る

← '(スペース)' も入れるので
合計5つの文字列を連結

```
print(s_all)
```

← 画面に出力

```
Python is useful
```